

介護福祉士であり、日本語教師である私たちが考える 外国人介護職員とともに育む「介護の日本語」

現在、介護現場では多くの外国人介護職員が活躍しており、日本語学習支援は介護サービスの質の向上や職場の定着を図るうえで、ますます重要な課題となっています。

一方で、「どのように日本語を教えればよいのか」「何を取り組めばいいかわからない」といった教育担当者の悩みもよく聞かれます。

本セミナーでは、介護福祉士および日本語教師の相場康子さんと塚本愛子さんから、「介護の日本語」教育の取り組みや、そこから見えきた気づきについてお話しいただきます。

また、おふたりのお話をもとに、“教える”だけでなく、“ともに学びあう”関係性の中で育まれる「介護の日本語」教育について、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。

※スピーカーへの事前質問がありましたら、参加申し込みフォームにご記入ください。



相場 康子さん(左) プロフィール

日本語教師・介護福祉士。介護は在宅・施設・高齢者・障害者を広く浅く経験。日本語教育は主にEPA候補者・技能実習生の日本語と国家試験対策を国内外で担当。今春より介護福祉士養成校で留学生の日本語教育を担当。

塚本 愛子 さん(右) プロフィール

登録日本語教員・介護福祉士・介護支援専門員。千葉県介護福祉士会所属。講師歴12年。2023年ネパールで特定技能(介護)の技術指導を実施。やさしい日本語で国家試験対策を行う等、日本で働く外国人の活躍と幸せを支援している。

日時：2026年3月24日(火) 20:00～21:00

対象：介護福祉士会 会員(他道府県の会員も参加できます)

外国人介護職員の教育担当者(日本語、国家試験など)

参加方法：ZOOMによるオンラインセミナー(参加費無料)

申し込み：<https://forms.gle/3d1FexYLfr4rZDW1A>

(3月22日までに、申し込みしてください)

といあわせ：東京都介護福祉士会 国際事業委員会

kuramotokoji@gmail.com 蔵本

